

国内の水族館で 3 館目！ 深海のアイドル「メンダコ」の卵が孵化しました !!

伊豆・三津シーパラダイス（住所：静岡県沼市、支配人植田 行宏）では、深海のアイドルといわれている「メンダコ」の卵が孵化し、生まれてきたかわいらしいタコの赤ちゃんの映像を公開しましたので、下記のとおりお知らせいたします。



メンダコの赤ちゃん



メンダコの成体

記

1. 公開開始 2021年9月28日（火） ※9/27 孵化 ※終了未定
2. 公開場所 新施設「みとしーラボ」内のモニタ展示スペース
※メンダコは明るい環境での飼育が適さないため、真っ暗な業務用冷凍庫内に設置した水槽で低水温にて飼育しており、その様子を当館が事前に高感度カメラで撮影した、記録映像をモニタに映しての公開となっています。

※一般的なカメラでは映らない照度であることと、生物への負担を考慮し、取材時の生物の直接の撮影はご遠慮いただいております
モニタに映る記録映像を撮影していただくか、事前に当館が撮影した映像・画像をご提供させていただきます。
3. 公開内容 メンダコの赤ちゃん（全長約1cm：1個体） ※記録映像

4. 「メンダコ」について

メンダコは、頭足綱八腕目メンダコ科に分類される、吸盤を備えた 8 本の腕を持つタコの仲間です。成長すると腕を広げた幅で 20 センチ程度になります。主に相模湾から東シナ海の水深 200~600 メートルの深海に暮らしています。

体は寒天のようにブヨブヨとやわらかく、平べったい形をしており、腕が短いことも特徴のひとつです。成体でも飼育は非常に困難で、その生態の研究もあまり進んでいません。繁殖に関連する生態についても、ほとんど知られていないのが現状です。

5. 孵化までの経緯

2021 年 2 月 25 日、駿河湾でのトロール漁で採集された複数のメンダコを、当館のバックヤードの水槽に搬入しました。メンダコの長期水槽飼育は非常に困難とされるなか、2 月 27 日に死亡したメス個体の体内から、4 つの卵を茶色の卵殻に包まれた状態で摘出することができました。それらの卵を暗い環境にしたバックヤードの水槽に収容していたところ、2021 年 8 月 24 日、卵殻ごしに発眼（黒い点状のものが 2 つ発生）していることが確認されました。

より観察しやすい飼育環境に移すべく、2021 年 7 月 17 日にオープンした新施設「みとしーラボ」内の業務用冷凍庫内に水槽を設置し、水温 10℃前後で暗い状態を維持したうえで、その水槽に 4 つの卵を移動し、観察を継続しました。

そして 9 月 27 日の 15 時 30 分頃、スタッフが孵化を確認し、稚ダコの様子を高感度カメラで撮影することができ、今回の記録映像の公開に至りました。

メンダコの孵化事例は、国内の水族館では葛西臨海水族園と沼津港深海水族館の 2 館しかなく、今回の事例で当館が 3 館目となります。この機会にぜひ、深海のアイドル「メンダコ」の、かわいらしい赤ちゃんの生きた姿を、記録映像を通してご覧ください。

以 上